



その他の活動解説

その他の活動解説

幹事会

通常総会で選任された代表幹事、副代表幹事、専務理事および幹事で構成。毎月1回(第3金曜日定例)開催し、会務の決定、委員会で取りまとめた提言、報告書などを審議する。

理事会

民法上の理事である代表幹事、副代表幹事、専務理事で構成。理事会を補佐するための下部機構を置く。会の運営全般についての審議、幹事会において審議される諸事項に関する事前協議を行う。

諮問委員会

代表幹事から指名された委員で構成。代表幹事からの諮問による重要事項の検討、代表幹事所見および年頭見解の取りまとめ、重要な時事問題に対する基本指針の検討を行う。

会員セミナー (旧・合同調査会)

1995年度まで「合同調査会」の名称で開催。全会員に対して内外の政治・経済・社会の諸情勢、変化の動向などについての確かな情報を提供する場として1965(昭和40)年より開催している。1996年度より「会員セミナー」と名称変更し、これまでの活動に加え、より幅広いテーマでの情報提供を行うとともに、会員セミナーの中に「グローバルフォーラム」を設置し、諸外国の経営者および学識経験者からのヒアリング、討議を行う。

研究部会 1977(昭和52)年度発足から現在

1977(昭和52)年度から現在の研究部会は、次代を担う企業人の育成を目的に、経済同友会会員所属企業等の、30代後半から40代前半の中堅層による自主的研究活動を支援している。

この事業の趣旨は、第一線で活躍している中堅管理者並びに社員に、日常業務から離れて自由かつ自主的に活動できる場を提供し、幅広い視野から問題発掘、自由闊達な討議を通じて相互啓発を促すとともに、異業種のメンバーとの人的ネットワークづくりを行うことにより、次代を担う企業人の育成につなげていこうというものである。

77年度以来、これまでに11のグループが、それぞれ1年半にわたる活動を行い、研究報告を取りまとめ発表している。現在は'96年度に発足した12番目のグループ(グループ96:内藤晴夫委員長)が活動中である。

各グループの報告書は以下の通り。

- | | | |
|--------|----------------------------|---------|
| グループ77 | 日本の存立基盤と企業のあり方—1980年代に | 諸井 虔委員長 |
| | 向けて中堅ビジネスマンの提言('79. 6) | |
| グループ78 | 新しい“人間の時代”を目指して('80. 4. 8) | // |
| グループ79 | わが国の今後の社会体制—多元的循環型社会 | // |
| | の構築('81. 5. 18) | |
| グループ80 | 個人と企業との新たな関わり合いを求めて | // |
| | —30代からの提言('82. 3. 29) | |
| グループ82 | 「真ん中人間」がアイデンティティを見つけ新 | 小坂隆造委員長 |
| | 時代に適応してゆくことについてのいくつか | |
| | の考察('84. 6) | |
| グループ84 | しなやかにそしてしたたかに—新たな価値 | 青木宏悦委員長 |

観に向けて('86. 8)

- | | | |
|--------|--------------------------|----------|
| グループ86 | 未来を見つめて—30代サラリーマンの考えた | 石井公一郎委員長 |
| | こと('88. 4) | |
| グループ88 | 「感受性」なき企業に明日はあるか—ゆとりあ | // |
| | る企業経営に向けて('90. 7) | |
| グループ90 | 日本のワースト・シナリオ('92. 4) | // |
| グループ92 | 男と女のいい関係—建前と本音の間で揺れる | 立石信雄委員長 |
| | 中堅サラリーマンからのメッセージ('94. 4) | |
| グループ94 | 30代サラリーマンの超・人生攻略法—「金備え」 | // |
| | から「兼ね備え」へ—('96. 5) | |

なお、活動を終了した研究グループは、OB会組織である「グループK」に加入し、引き続き活動を行っている。

経済研究所

経済同友会の政策提言活動の基盤強化、および事務局企画調査部門スタッフの育成を目的に、1980年7月1日、事務局内に経済研究所が設置された。

以来、経済研究所は、①経済同友会の思想的・論理的基盤の補強とその成果の経済同友会活動への反映、②経済同友会委員会活動の基盤となる基礎的情報の収集、情報ネットワークの強化、③事務局スタッフの企画調査能力・政策立案能力の向上、を基本方針に活動を展開してきている。これまでの活動内容は、大きく①内外の政治、経済、社会に関する諸問題の調査研究ならびに情報収集、②各種研究会の企画・実施、③「企業白書」「経済研究所報」等の出版物の刊行、④他団体(東京経済研究センター等)への事務協力、に分類される。

全国経済同友会代表幹事円卓会議

1959(昭和34)年から全国各地の経済同友会代表幹事が、年1回一堂に会し、東京で意見交換を行う。全国各地の経済同友会と当会とを結ぶ組織として1951年(昭和26年)に設置されていた全国委員会の事業を引き継いでいる。

全国経済同友会セミナー

1986(昭和61)年12月5日開催の全国経済同友会代表幹事円卓会議において、全国各地の経済同友会の相互活性化ならびに意思疎通を図るため、共同事業として第1回「全国経済同友会セミナー」が'88年3月7—8日、東京で開催された。本事業の推進は、東京、関西、中部など7地域経済同友会の代表からなる企画委員会が当たる。